



サイジヤナル

月刊
5-3-4
第468号

日本サイ科学会 令和5年3月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	関 西 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569・FAX 06 (6624) 5061	九 州 〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F 伽 羅 ☎ 070 (7782) 6216・FAX 092 (846) 8200
---	--	--	---	---

四月本部例会のお知らせ

虹膜が示す身体のサイン〜虹膜学から得たセルフケアの方法〜

講師 関房子氏

日時 令和5年4月16日(日)

午後1時30分〜4時30分

会場 北とびあ9階901会議室
J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端
(赤羽寄り)の階段を下り改
札口を出て見える高層ビル
会費 会員二千円(当日入会可)
一般三千円 学生一千円

(講演内容)
虹膜学とは

目の虹膜には体の状態(病気など)が100%反映されており、眼を見てわかる健康診断とも言われています。

250年前から存在する医学で、現在の西洋医学では見つけられない身体のトラブルも虹膜に映し出されます。その情報は腸から発信されており、腸から脳へ伝達されます。腸の乱れは脳の乱れに繋が

◎事務局からのお知らせ

※今月は年度替わりですので、「会費納入のお願い」の通知と郵便振替用紙が同封されています。いろいろ出費の多い時期で恐縮ですが、日本サイ科学会の活動は皆様の年会費で支えられておりますので、早めのお振り込みをよろしくお願い致します。

※また、日本サイ科学会は近年、会計が厳しくなっておりますので、少しでも御寄付が戴きましたら、助かります。恐縮ですが御寄付をしていただける方は、同封の郵便振替用紙の該当欄にその金額を記入し、年会費に追加して、お振り込みをお願い致します。

り、脳から発信される自律神経の乱れそのままが映し出されています。その他にも、がんや動脈硬化、手術跡などの傷も反映されます。

今回はこのような虹膜学とは？といった説明、その知識から学ぶ余病法、病気の根本的な原因と治し方、そしてこれから注意すべき病気の予知に至るまでを解説、ま

今年から三千元以上のご寄付に對しましては返礼品として、10頁の「関英男先生関連書籍」の中から約半額分に相当する書籍をお送り致します。(四万円以上のご寄付は全13冊を1冊ずつまででご容赦願います。)※アマゾンで希少本になっている書籍もありますので、ご希望の書籍がありましたら各1冊までを郵便振替用紙に記入、またはメールでお知らせ願います。

今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 事務局からのお知らせ
- ◎ 計報とお知らせ
- ◎ 10月全国大会研究発表者募集
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 関西日本サイ科学会四月研究集会(ネット配信)のお知らせ
- ◎ 関西日本サイ科学会新会長の挨拶 前会長の退任ご挨拶
- ◎ 第48回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 令和4年4月本部例会の報告II
- ◎ 関英男先生関連書籍の販売
- ◎ 命が消えるまで心身健康でいるための生き方(1)
- ◎ スマホ神降臨！一方で霊界は新たな悩みも

一般の御寄付御礼

(2/7受領分まで)

金十万円也 志賀 一雅 様
 金三万四千元也 小林 信正 様
 金五千元也 阿久津 淳 様

関西日本サイ科学会 四月研究集会のお知らせ

関西日本サイ科学会相談室

日時 令和5年4月15日(土)
 午後3時開始～6時終了(予定)
 会場 医療法人春鳳会、はしもと
 内科外科クリニック

<https://clinic-hashimoto.net/>

交通 阪急京都線 正雀駅東口より
 徒歩10分、JR東海道線

岸辺駅より徒歩18分
 大阪モノレール 南茨木駅
 乗り換え～阪急正雀駅東口
 より徒歩10分

会費 会員 3500円(当日入会
 可) 一般 4000円

※相談者も同料金です

※会場参加は定員20名(会の進行のため相談者優先とさせていただきます)

クリニック内で別室のモニター参加17名まで(動画中継ですが質問は対面可能です)

予約状況ではご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

※講座後は15名までの限定で懇親会を行う予定です。スペースの関係で事前申し込みが必要です。

その他ZoomによるWEB参加は人数制限なし

※後日、動画記録も再生できるようにする予定です。当日参加せず後日、動画だけを観る場合も手続きがいろいろありますので参加費は同じとなります。ご了承願います。

会場参加、当日WEB参加、後日アーカイブ視聴、懇親会参加も含めて、申し込み先は

kansai.psi.2023@gmail.com

メール件名は「4月15日会場参加希望(または当日Zoom参加、後日動画視聴、懇親会参加希望)」

と記してください。
 申し込み受付後に会費の振込先をお知らせいたします。

(研究集会内容)

サイ現象は、念力、透視、テレパシー、予知、臨死体験、心霊現象、気功、UFO等の現象のことですが、関西日本サイ科学会では今回、サイ科学的な相談を公開講座で答え、それに関連した事項を解説します。

今回の相談に回答するのは、関西日本サイ科学会前会長で、世界的プロ・ダウザー故ビル・コックス氏と水源探知から深井戸鑿井工事までわが国初の事業(2例)を共同で成功に導いた和田高幸先生と気当て診断でサイ科学的な相談に答える異色の医師、橋本和哉が担当いたします。

二人とも、著作があり、相談を受ける、講座を行うなど多くの実績が有ります。

参加者からサイ科学的な相談を受け付けます。それを講座で回答いたします。(注意：対面で資料を持って来て相談出来る方に限り)単に回答するだけでなく、そ

の内容の基本的な事柄を含めて解説いたします。

相談可能な内容としては

1. 土地の気エネルギーに関する相談、どのように土地、住居を選ぶか?
2. 体調不良のサイ科学的な原因は?
3. この人と付き合うべきか?
4. 何処の神社にお参りしたら良いか?
5. 神社のお札の祀り方
6. 霊的な異常はないか?
7. 過去生に原因はないか?
8. 自分の適職は何か? 何処の会社に就職したら良いか?
9. トラウマとその対処法

などですが、できましたら今回は1. の土地、不動産などの相談をメインに受けようと思っております。ダウジングや気当てが最も得意な分野だからです。

家、土地に関して、水脈、地磁気、グリッド、湿地、龍穴、龍脈、イヤシロチ、ケガレチ、先住者の意念、瘴気、鬼門、家の配置、家の形、庭木を切った、などのサイ科学的な観点から相談にのる事ができると思います。

二人のプロのチェックを受けながらの相談は世間一般とは違った観点からの回答になると思っています。

相談を受けた方は以下の相談形式に則ってメールで相談内容を送ってください。ただし相談を受け付けるのは資料を持って会場に参加できる人に限ります。

◎相談メールの送り先
kansai.psi.2023@gmail.com

相談者が多数の場合は次回に回っていただくこともありますが、予めご了承ください。

また相談講座当日、Web参加者もいますので、相談者はマスク、サンングラスなどで顔を覆い、個人特定されないよう配慮します。

サンングラスはご自分の物を持参されても構いません。相談内容は参加者も聞きますので予めご了承ください。

相談形式は例文を参考に以下のように簡単に記載ください。

【名前】橋本和哉

【連絡先】〒566-0024

大阪府摂津市正雀本町2-5-23

【メールアドレス】

hashimoto.cl@gmail.com

【電話番号】06-6382-2110

【依頼内容の題名】数年来続く倦怠感の原因検査依頼

【概要】医療機関で調べても原因不明の倦怠感が霊障によるものではないか？

【依頼内容の詳細、いつから、どんな症状】2年前から激しい運動やストレスの多い生活をしていないのに倦怠感を感じるようになってきた。病院で検査をするも異常なし。最近パキッというラップ音が部屋でするようになってきて不眠がち。

※懇親会に参加される方は食事の飲み物、食べ物などご自身で持参ください。お酒持参も大丈夫です。ゴミはお持ち帰りください。

関西日本サイ科学会 会長就任のご挨拶



この度、和田前会長から関西日本サイ科学会会長を引き継いだ橋本和哉です。

現在、医療法人春鳳会はしもと内科外科クリニックの院長をしています。

私が本格的にサイ科学会と関わり始めたのは全国大会で発表を始めた平成20年頃です。

おかげさまで全国大会発表に際して表彰状を3つ頂き、基幹奨励賞を頂き、心を科学する博物館にまで入れて頂きました。また本部署理事、関西では副会長に就き、日本サイ科学会との絆は強くなりました。

令和4年10月、関西日本サイ科学会の会長を初めて打診され、戸惑いました。

私は副会長でしたが、午前診療のため幹事会に参加できず、関西の運営を分かっていなかったのです。

また、診療、医師会理事、NPO癒しと健康ネットワーク理事長、癒しフェアなどで講演、診療以外の相談を受けるなど日々忙しくしています。

しかし、幹事会の総意なのと、会の進め方は橋本流で良いからと仰って頂き、関西日本サイ科学会の運営を引き受けようと思に至りました。

関西日本サイ科学会はコロナの煽りを受けて予算的にも厳しい状況です。また時間的にも自分に出る範囲は限られています。

こうした中での構想として、会場での講座を開催し、またZoom配信できる講座を増やそうと考えています。

また広報媒体としても、ブログ、HP、メールマガジンなどネット積極的に配信していきたい

と考えています。

関西日本サイ科学会の形態はこれまでとは変わりますが、どうぞ、ご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



関西日本サイ科学会 会長退任のご挨拶

関西日本サイ科学会前会長

和田 高幸



早いもので、関西日本サイ科学会の会長を引き受けてから3年ほどが経ってしまいました。コロナ禍に翻弄される時期ではありませんが、会員やサポーターの皆様方のご支援により無事、重責を全うすることができたと自負しております。引き続き橋本和哉氏(MD)

が会長を引き受けてくださることになり、喜んでおります。

橋本氏は大阪大学医学部を卒業、サイ科学方面に取り組み医師として多くの実績をあげておられますので、関西日本サイ科学会会長としてその手腕がますます期待されています。

ところで、研究会参加費を主な収入源とする関西日本サイ科学会の厳しい予算編成をクリアするため、会場費などの削減は大きな課題となっていました。インターネットなどの活用によるオンライン講座は不可欠ですが、橋本会長はデジタル方面にも精通、周辺の人材も豊富で現時点での不自由はないと考えられます。とはいえ、研究会講師、各種催しの告知、「サイ科学」の研究開発、などいくつかの課題もあります。

従来の幹事会メンバーの皆様からの助言などもふくめ、時代に応じた「日本サイ科学会」の確立に向けて大いに発展することが期待されます。

私事となりますが、論文集「サイ科学2022」にも書きましたとおり、「UFO」との接近遭遇、目

前での撮影体験が日本サイ科学会へ接触した動機であり、未来への視点が一転太古に遡る、といった特異な経験の結果でもあります。その点で、「日本サイ科学会」は、わたしの人生の重要な部分を占めているといえるかもしれません。

わたしは米国のプロ・ダウザー、ビル・コックス氏と共同で日本初となるダウジングによる深井戸鑿井(2例)を成功に導きましたが、そのためか「ダウジング」という技術が自然に身に付き、住環境や医学方面への応用が可能となりました。今後残りの人生で、これを深めていきたいと思っています。そのため、2月にわたしの仕事場である「まつむし音楽堂」に「Bio Acoustic Laboratory」(生体音響研究所)を設けました。「音」も「形」(イメージ)も「振動」に還元できるわけで、その原点となる「音」(波動)についてもっと深く追求したいと考えている昨今です。

今後とも関西日本サイ科学会へのご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

第48回宇宙生命研究分科会

第5回 ソクラテスシンポジウム

テーマ「虚空と時空」

日時 令和5年3月25日(土)

午前10時〜午後4時30分

会場 北とびあ7階第二研修室

交通 JRR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽

寄り)の階段を下り改札口を出

て見える高層ビル

参加費 一般 二千元

サイ・サトル会員、学生、60歳

以上一千元

宇宙人0円(但し受付の要認可)

※事前参加申し込みは不要です。

※当日会場にて直接、現金にて

参加費をお支払い下さい。

虚空(あきやしゃ、アカーシア)が仏教徒や神秘家の求める宇宙とすれば、時空は科学者の観測する宇宙である。この虚空と時空はどのような関係があるのだろうか？

宗教と科学はPSIを通して対話できないものだろうか？ 魂を探求する魂理学こそサイ科学(Psilence)なのではないだろうか？

か？

みなさんで楽しく話し合いましたよ！(世話役 阿久津淳)



令和4年4月本部例会報告Ⅱ

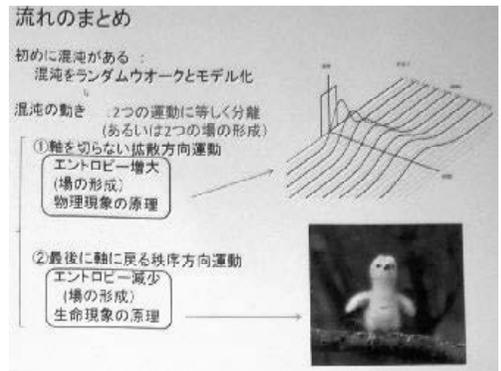
生命現象発生の数理仮説
(命の働きは混沌から現れる)

講師 浪平 博人氏

(日本サイ科学会会長)



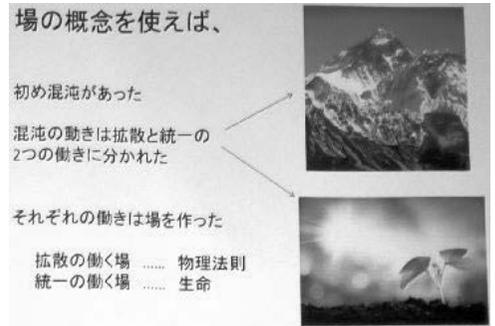
流れをまとめますと、最初に混沌があって、混沌をランダムウォークとモデル化し、その混沌の動きというのとは2つの運動に等しく分離されます。



一つは軸を切らない拡散方向の運動、すなわち物理現象の原理です。もう一つは最後に軸に戻る秩序方向運動、すなわち生命現象の原理です。従って物理現象と生命現象の原理というものは、混沌が時間と共にばらけていくその運動の二つとして結論づけられるわけです。

従ってこれでもって、拡散していく運動と秩序と統一に向かう運動が現れるということが一つの仮説として示されるわけです。

この二つの方向の働きを場であると理解しますと、最初に混沌がありました。



混沌の動きは拡散と統一の二つの働きに分かれました。ここにある山(上図)とかは物理現象です。統一というのは命がずっと成長するようなこちら(下図)の力ですね。それぞれの働きは場を作りました。拡散の働く場が物理法則となり、統一の働く場が生命となりました。このように理解できま

す。

「最初に混沌あり

混沌は変化し拡散と秩序の二つ(あるいは場の形成)に分離せり

秩序の力(あるいは場)はやがて命を産めり」

だいたいこのような神話は世界のあちこちにありますがね。

合理的思考とは？

我々のいう合理的であるとは、カオスの生み出す一つの流れである物理法則を生み出すものに従うことであります。(測ることのできる世界のことを見て、言っている)

合理性のみでは満たされないものが残るのはなぜでしょうか？

例えば、偉くなりたいと思いつ、それをあらゆる手段を使って達成しました。しかしそれは死ぬときに満足でしょうか？ いいと言う人もいるでしょうが、やはりそれだけでは心に残るものがある人もいます。もう一つの流れである統一(命)への法則の配慮が欠けているからでしょう。

合理的思考とは、物理法則に従う考えであり、物事の半面です。

命の本質は、秩序に向かって働く力なんです、時はいま、大変革の時代にあたって、新しい秩序

への模索が必要になっております。私は気づきとか創造への道筋というのを本気で考えておりました。それを考えるときにいつも肝腎なところが抜けるわけですね。

例えば、気づきの構造などを考えるのにその最後のステップで気づくのは何かというと、なぜ気づくのだろうということとは、理屈では言えないわけですね。しかしこれは生命には統一の方向に働く力があるのだ、その直感によって統一性を見つけているのだと考えれば、非常に納得できるわけですね。

いろいろな創造論というのは、心に無にしてやれば見つかるかと言いますが、いくら心を無にしても見つかるもんじゃありません。しかしそれは命自体がそのような方向に向かう、その具現化したのが命ですからそういうものの働きによって分かるのだと考えれば、納得できます。

気づきの発展例として、ITがあります。IT時代というのは大変な変革期でありまして、私は地質学的な時代でいえば、カンブリア期において生物が眼を持つようになったことに相当するのではな

いかなと思っています。眼が発明されたことにより、それまで生命は触覚で周囲を把握しておりましたが、それでは眼をもつ他の生命から食べられてしまうのですね。だからあの時代はものすごく生命が爆発しましたね。今の時代でカンブリア期における眼に相当するものが今のITであると思います。

ITというのはゼレンスキー大統領がアメリカの国会で演説したのは、とき、場所という制限を無くしました。ITは我々の世界からそういうものを本質的に無くしたんです。ものすごい変革がこれから起こるでしょう。それはカンブリア期に似たものであろうとは思っております。

そのITと我々の視覚作用というものに焦点をあてて、いろいろな論理的なものを視覚的に説明するという「動的視覚化」という方法を考えました。これで教育というものが根本的に変わると思えます。後でお見せ致します。

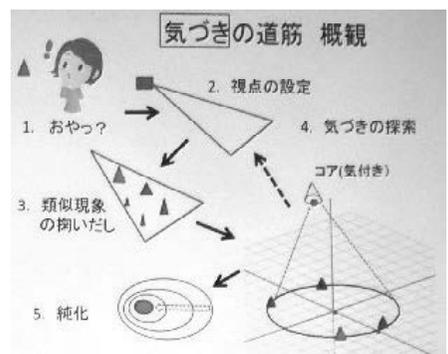
秩序というのは命の働きであり、命というのは自分で自分を生み出すという構造をとります。それは再帰構造ですが、その再帰表現の

中で「再帰2分木」というものを用いているいろいろなツリーを発生させました。それが実に生命に似ているのです。それを実証的に示しましょう。

そして時間があれば美というもの、すなわちなぜ人間は美を感じるのか？ということも理屈で言えなくても分かりませぬ。しかし命の中にある本質的に統一に働く力に合うものを美とみるのだと考えれば、なぜ美というものを感じるかが判ります。そして一生懸命新しい美を考えるとときには、従来のものでないものを探さなければいけない。しかしほったらかせば従来の思考に入ってしまう。そういうような矛盾した状態というものを抜けるために、それを無意識の乱数に対応させて、新しい図形というものを創造する方式を考えました。これも後でお見せ致します。人間が考えるど何ヶ月もかかるデザインを一瞬にして創り出します。

今までが総論で、これからが各論です。

私は気づきとか創造というものの道筋を一生懸命考えておりました。



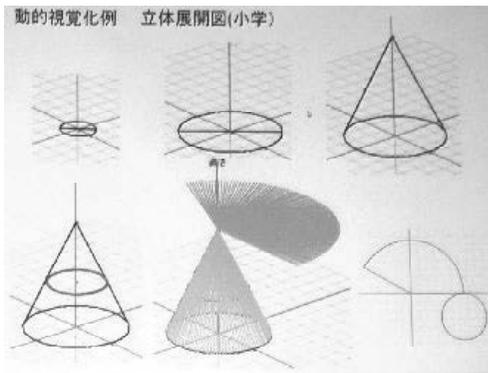
た。まず何でもないことに「おやっ？」と思うことが必要です。それがある視点、ある切断平面を決めてからものを見る。それは自分に良い質問をすることに繋がります。そうするといろいろな類似現象が浮かびます。それらの類似現象を統一的に理解できる一つのものを見つける、これが気づきですね。これを展開したのが創造です。しかしこれがどうして見つかるのか？不思議でならなかった。皆いいかげんな説明をしています。が、要するに命の働きなんです。ばらばらになっていてものを統一するのは何かといったら、命の働きです。

私の気づきの例として、「論理的な事柄はなぜ教えにくいのだろうか？」という起点がありました。今はどう伝えているかという点、記号や数式や手順に分解するなどいろいろな切断面がありますが、全体の意味が伝わりません。

先日テレビで見て驚いたのですが、視覚の刺激閾が10のマイナス10乗エルグという値を出しており、眼は1〜数個の光子で光覚を生じうるようで、聴覚と比べると圧倒的に少ないエネルギーで感覚が生じるそうです。

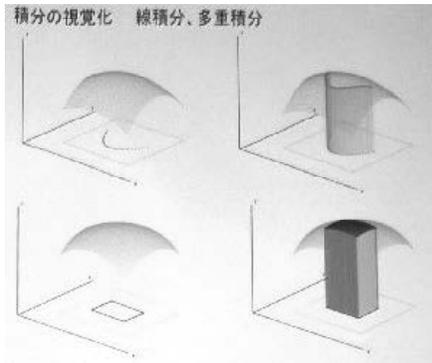
そして論理的な事柄を教える方法として、目で見えるシミュレーション経験ができる動的視覚化という方法に至りました。眼は物事を見た瞬間、その絵の中に含まれる関連要素をパッと見て取ります。それに動きを加えると全体の意味が分かるようになります。すなわち物事を動的に視覚化すれば意味が自然に伝わります。眼にはそのような機能が何億年かの間に蓄積されたのです。今の技術でもそれがどういふことかというのを、つぶさに述べよと言われても、多分できないと思います。それは生命が生き延びるためお互いに切

磋琢磨して発展させたんでしよう。本当に神がかった能力であります。そういう能力とITを結合させたら新しいものができるだろうと考えて動的視覚化を創造しました。論理的内容を数式や記号だけでは何ヶ月かかっても結局その意味はほとんど分かっていないというのが大半であります。そういうものを眼でみることにより一瞬で理解できます。

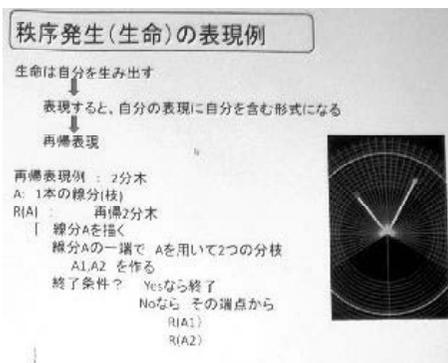


例えばこれは小学生用の立体の教材ですが、自分で自由に底面の円の大きさを決め高さを決めて、様々な円錐を描き、またその展開図もこのようにして(側面に動的

に縦ラインが入る)すぐ描けます。



積分も線積分や多重積分についても視覚化して(ラインが動的に入っていく)その意味が掴めます。



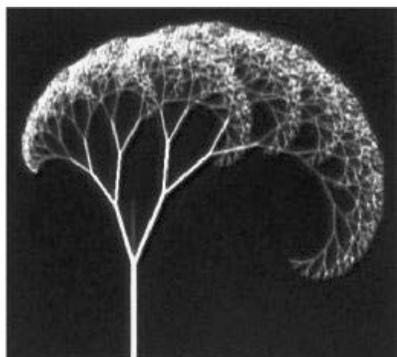
生命は秩序と申しましたが、その発生の表現例として、命というのは自分を生み出すというのが特徴です。自分の中に自分を含むのうと再帰表現になります。

そこで「再帰2分木」というものを作っているいろいろな変化させました。そのプログラムの形式は

線分Aを描く
線分Aの一端で二つの分木A1、A2を描く
(終了条件がNOの場合)
また線分A1、A2の末端からそれぞれ2本の分木を描く
(これを多数回繰り返す)

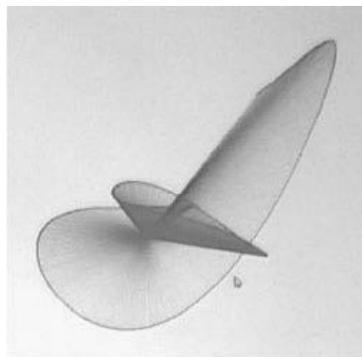
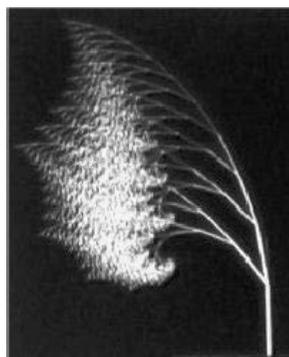
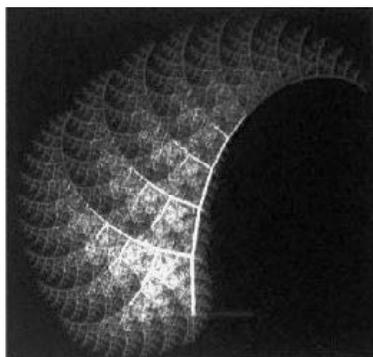
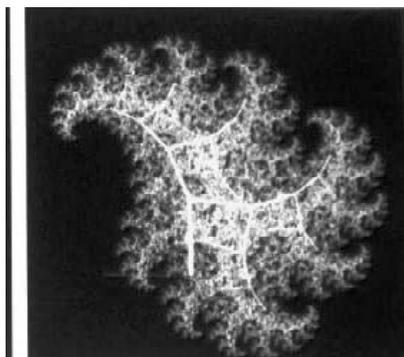
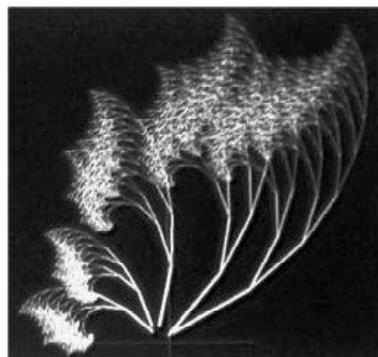
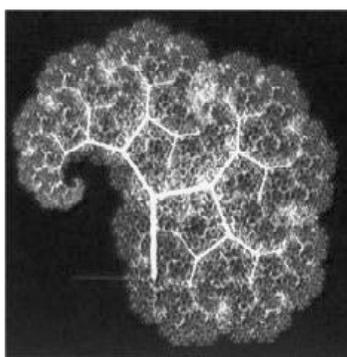
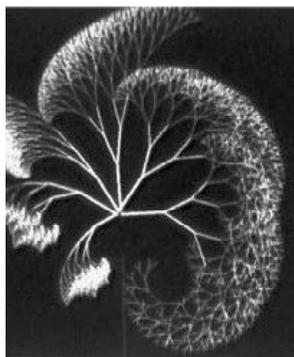
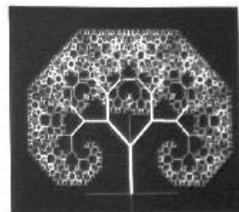
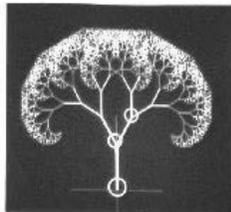
※以下この方法により、パラメータを様々に変えると、自然界にある木のようなデザインも描けますし、自然界には見当たりませんが木のように見える様々なデザイン画が描けます。

※この後、動的視覚化のプログラムで小中学校の数学教材から、多変量解析の主成分分析、再帰2分木、マンデルブロ集合、影付き立体図等が紹介されました。

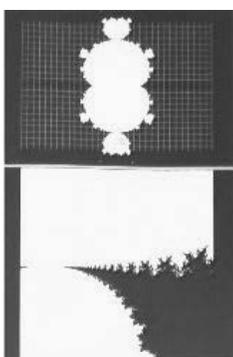


再帰表現:
 自分は個(部分)であり、同時に全体でもある
 孤立した部分などなく、すべてつながっている

下面は一体で不可分 という世界観を表現



◎ デザイン画



◎ マンデルブロ集合

故 関英男先生のサイ関係 (+a) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2100円	(300円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2550円	(200円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1995円	(200円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1000円	(160円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800円	(160円)
CD: 生命と宇宙 [講演録72分] (1998: 船井メディア) ...	3000円	(160円)
謎のオズマ計画 —UFOとの関連— (1976 USL)	190円	(160円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1000円	(160円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げ致しました。

以下オスカー・マゴッチ著, 関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)

1000円 (200円)

深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)

1000円 (200円)

深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)

1000円 (200円)

オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)

2500円 (160円)

ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)

2500円 (160円)

※上記2講演は日本語逐次通訳付きで、USBメモリー (MP4ファイル) でお送り致します。(Windows パソコンで視聴できます。)

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から2週間以内に発送致します。

※1種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX で確認して頂いてから、お願い致します。(在庫が少ない書籍は一人1冊までとさせていただきます。)

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

〈お問い合わせ〉

日本サイ科学会事務局 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

FAX 047-330-4091

10月24日。軽自動車の中に入れていた財布(現金約7万5000円入り)がなくなりました。27日には事務所に置いていた黒いカバンがありません。これにはカードや本、その他が入っていました。

11月1日になると、財布は軽自動車の中、カバンは普通自動車の後部座席で見つかりました。どちらも何度も探して無かった場所や、置いているはずのない場所です。

財布については神隠しのことを話した東京の先生に「財布があなたの身代わりになってくれた」と言われました。世のため人のために尽くしているから、病気や事故、災難から身代わりになってくれたのだということです。

同じ頃、大阪の先生に「あなたのお母さんのお母さん(祖母)は腰の曲がった人ではありませんか」と尋ねられました。「その通りです」と答えると「お墓参りに行きなさい」と言われました。翌日お墓参りに行って気づいたのですが、その日は祖母の命日だったのです。

また、11月17日はお墓参りやいろいろな所を済ませる日でした。長崎県長与の営業所から石町まで約50分の道のりです。朝7時30分、長与の営業所を出発しようと車に乗ると、お世話になっている村山先生からいただいた本がありません。12時半頃気づくと、助手席に本と3通の手紙がありました。

その後、東京でホテルに泊まっている時もスリッパがひとつなくなったり、自家用車の鍵が置いたところになく、午後に出発する時はあつたりということが重なりました。

これらは、あの世からのサインだと考えられます。あの世とこの世の世界を勉強している人に助けを求めてくるようです。信じない人には、あの世の人頼ってこないのでしょうか。私はただ、助けを求めるみんなが光の世界に行くように祈るのみでした。祈りながら11月24日の朝4時10分に、一連の現象を書き留めました。

●生霊の研究

人間関係がこじれて怒りや恨み、妬みなどを受けると、身体のおちこちに不調が表れます。これは自分がいい、悪いではなく、相手からの想念だから厄介です。

その想念は生霊と言ひ換えることができます。

実は、心身の不調の80%ほどが、この生霊(悪い想念・悪念)だと私は考えています。仕事の疲れは1日しっかり休養すればとれます。けれど体がきつい、だるいといった原因不明の不調が毎日続くというのは生霊の影響の可能性が大きいです。私自身の経験からも証明されています。また、悪念を受けると白目が濁ることが多いようです。濁りはやがて痛みやその他の異常にもつながっていきます。

そういった状態が長く続くと、念を受けた人はもちろん、念を発した人にも病気として表れてきます。相手に対する悪い想いが伝わることで、互いに悪い影響を与え合い、どちらも先祖からいただいた肉体の弱い部分に不調を起こすのです。

年をとると身体は弱くなりますが、念の力は強くなるようです。互いに悪念を送り合えば、弱った身体がどうなるかわかりでしょう。病気ではないので薬も効きません。

しかも、生霊は発する人間の想いが消えるまで届きます。波のように繰り返し訪れるのです。左側の不調は女性から受ける悪念、右側の不調は男性から受ける悪念といわれます。そして、もっともひどいのは身内の争いで受ける悪念です。難病となって表れることも多くなります。生霊は祈りで一時的に軽くなることはありますが、簡単には止めることができません。自分ではなく相手の心だからです。それではどうしたらいいのか、私は研究を続けてきました。そこで導き出した生霊からの悪影響を軽くする方法を記します。生霊が身体から出ていく時は、口からゲップとして、下からはオナラとして出ていくことが多いと感じます。

- 神棚のコップに水を入れて少量の塩を加え、その水を飲む。または痛みのある場所、不調を感じる場所につける。
 - 朝、酒を家のまわりにまく。
 - 生霊を送ってくる相手がわかったら、謝り祈る。自分が悪くなくても、心から謝り相手のために祈ること。悪い想念が互いに伝わるように、良い念も相手に伝わり自分に返ってくる。
- 大切なのは真心で感謝し、祈ることです。自分のご先祖様に、父母に、そして相手に向けて愛と感謝を伝えることです。(続く)

どを通るルートで、通常なら長与営業所まで40分くらいの道のりです。

ところが渋滞で車が動かない状態になったところ、浦上駅のあたりで左の太ももに強い痛みを感じました。言葉では言い表せないすごい痛みです。原爆で亡くなった人が団体に助けを求めにきているのがわかりました。祈っても祈っても痛みはとれません。それほどまでに助けを求めているのでしょうか。普段の倍の1時間20分ほどかかって長与に着くと同時に、少しずつ痛みが軽くなっていきました。

●JAL機内にて

時期が少し前後しますが、長崎と東京を行き来する日本航空の機内で起きたことをまとめます。

10月9日、東京から長崎に帰る便で「お飲み物は何にしますか？」と聞かれました。「水」を答えて待ちましたが、何も届けてくれません。尋ねてみると「いない」と聞こえたと言います。

見たところ50代前半の客室乗務員に「あなたは少し耳の聞こえが悪いようですね」と言うので「そうなんです」と答えます。「それは、あなたがご主人の意見を聞かないからですよ」と言うので「そうですね」と同意します。「ご主人の意見を素直に聞くと、耳が良くなり今後の人生も好転しますよ」という私の言葉を真面目に聞く人だったので、人生の真実、生き方の話を喜んで伝えました。

耳なりなど、耳に不調があるのは他人の意見を素直に聞いていないというメッセージです。その状態を長く続けていると、もっと耳が聞こえなくなってしまうでしょう。

この人は私の話に耳を傾けましたが、頑固な人は困ります。一般的に右は男性の意見を聞かない人、左は女性の意見をきかない人が耳を悪くします。最初の頃は耳鳴りの状態が続き、薬を飲んでもあまり効果がないようです。

昔から言われる「信じる人は救われる」というのは、素直な人は間違いを正せる。いいことを取り込めるといことでしょうか。私の妻も素直になったら心身の悪いところが良くなり、毎日が良い方向になりましたので、これは実証済みなのです。

その後、11月20日に東京から長崎の最終便に乗ろうとしたところ、10分遅れで間に合いませんでした。そのため21日の朝一番の便を頼みましたが、翌朝5時にホテルで確認したところ12時の便になっています。早朝にそのまま空港に行き説明し、満席だという朝一番の便に何とか乗ることができました。

私は長崎と東京を何度も行き来していますが、以前はこのようなことはありませんでした。コロナで若い人の入社がなく、乗務員が年齢を重ねたり、疲れたりしているのではないかと考えました。その意見を長崎空港に着いた際に乗務員の幹部に伝えると同じ意見でした。コロナはこんなところにも影響しているようです。その中でどう生きていくか。それを問われているような気がします。

飛行機での出来事として、もう少し綴ります。

10月16日、長崎から東京への便でのこと。ひとりのお客様の顔色が急に青白くなり、気分を悪くしていました。私が心の中で一生懸命祈ると体調は回復しました。その理由は、その席で亡くなった人が助けを求めてきていたように思えます。飛行機の中で亡くなった人がいたら飛行機会社は供養が必要です。

また、そのような席にあたってしまっても自分の心身がしっかりしていれば大事に至らずにすみませす。そのため体調が悪いような時は、無理して出かけずにできるだけ自宅にいますようにしましょう。

12月4日の東京発長崎行きの機内では、なかなか泣き止まない子どもさんがいました。父親に「夫婦の仲が悪いと、先祖の知らせとして子どもさんにメッセージが出ますよ。夫婦仲良くしてください」と伝えてみました。夫婦揃って素直に「はい」と言ってくれたのでほっとしました。

子どもの夜泣きなどの問題は、夫婦の心が離れていたり、互いに相手を思いやらず、自分のことばかり考えていたりする時に起こります。それは「家族仲良く穏やかに暮らしてほしい」というご先祖様からのメッセージなのだと思います。

●神隠しのこと

短い間に立て続けに起こった神隠しのことを書き残しておきます。

ないのだろうと思う。この変わらない心のベースこそがスピリチュアルであると思いたい。私たちそのものは霊であり、肉体を持たない霊たちとも共存して生きている。これはプリミティブであるという事を改めて念頭に置きたい。新時代の感覚を新人類と共に、この新年も歩んでいけたら幸いである。3月8日からはじまるWBC (WORLD BASEBALL CLASSIC) も新人類たちの活躍を熱

意を持って応援しよう。

- ※1 生れた時からインターネットがあり、パソコン・スマートフォン・タブレット端末などが当たり前のように整っている人たちのこと。デジタルネイティブとも呼ばれる
- ※2 1990年代後半から2010年頃に生れた人のこと
- ※3 2011年以降に生れた人のこと

命が消えるまで心身健康でいるための生き方(1)

森安 政仁（九州日本サイ科学会前会長）

私は現在82歳です。若い時と同じように健康で、ありがたく自営の卵卸業に励んでいます。毎日のたくさんのお会いを生かすべく、心の勉強も40年以上続けています。

40年以上、全国の縁ある方々の相談に乗り、心霊治療も無料で続けてきました。それは世のため人のためになりたいという想いと共に、自分自身のためでもあります。そこから様々なことを学んだり気づいたりしています。

そうして一番大切なことは、人間関係の調和であるということがわかりました。人間関係の調和が崩れると、何もかもうまくいきません。これまでの著書や寄稿の中で繰り返しお伝えしていることですが、このたったひとつの真実を伝えていくことが自分の使命だと思っています。

私は、出会う人々と心をあわせて生きたいと願っています。誰とでも仲良く、心からつきあうこと。人を愛することが心身の健康の秘訣と言いたいです。

肩こり、頭痛、腰痛、しびれなどがあると医者はストレスと言いますが、これらは現代の医学では解明されていない症状です。対症療法で緩和はできても、原因や根本的な治療法はわかりません。その多くについて、私は心のあり方だと考えています。

心の中は皆それぞれ違います。共通して言えることは、祈りの世界で悪い念を消していくことです。人を殺す、水子を殺すといった悪い行いをしたならば、その後の人生を幸福に過ごすことは難しいでしょう。

人の心は顔に表れます。顔を見れば、その人の現在の生き方がすぐにわかります。顔の表情が暗く曇っている人は、争い事をしているか、心に悩みを抱えていることが感じられます。心がきれいであれば表情が明るく輝きます。何もかもがうまくいき、人生冥利に尽きる日々が続きます。

良い状態で天寿をまっとうするためには、穏やかな人間関係と正しい食生活。私自身、これで一生健康に過ごせることと信じて82年目を迎えました。

●不思議な出来事

心の勉強をしていると、世間では不思議といわれるようなことが当たり前次々と起こります。そうして起こるにはすべて理由があることが理解できます。ここでは、2022年の10月、11月に私の身の回りに起きた出来事と、そこから得た気づき、学んだことを記したいと思います。

2022年10月10日、夜の7時30分くらいのことでした。スーパーに買い物に行くと、急に体調が悪くなりました。気をつけながら急ぎ自宅に戻って祈ると、苦しさは軽くなっていきました。心当たりはスーパーの土地です。戦国時代に激しい戦いのあった場所だそうで、亡くなった方々が助けを求めていたようでした。

11月4日に長崎県の五島に出かけた時にも同じようなことがありました。夕方5時30分に長崎港に着き、5時40分頃、大波止を出発しました。長崎駅前から浦上駅前、そして平和祈念像前な

を促すのが私たち中高年の役目なのである。

100年後、日本は霊的リーダーの集うエリアに

さて、今度は私ども中高年の頑張り所を訴えたい。私たちが当然努力しなければならない。果報は寝て待てと言うが、その果報の種を私たちが作り出し、若者に流れ着くよう促すのだ。今を生きる者たちは、どの年代も楽などしている場合ではない。そして、その役割を担う者は「視えないそれ」に触れ続け、思い込みの概念の覆しに尽力する事である。まず「霊界は死後の世界のもの」というステレオタイプ化された思考を薄めていく必要がある。確かに霊界は死後の棲み処という事は間違ではない。ただし「霊」そのものが死後の世界だけのものという事は誤りである。この文章をご覧の皆さまにとっては既知の事と思うが、私たちは肉体を生かしながら生活をする霊である。体という物質を自在に操り、個人として存在する。しかしその本質は霊なのである。体はその城にすぎない。この自覚こそが世界を平和に導けるかどうかのスピードと大きく関わってくるのである。

霊の世界はあるかないか、肉体が霊の器であるのが本当かどうかと「考えている」時代の幕は下りつつある。考えなくても「わかる」のが新人類なのだ。若者の吸収から発動までの時短は時代と共に加速している。そうすると日本は如何にして霊的なリーダーを生み、さらには集まる場所となるのか。そして、その重要性とは何かという事になる。

各地で起こる紛争も霊界の反映でしかない。紛争が人間界で起きてしまうのは、そのエリアが霊的に脆弱だからである。いま、霊界は地上に霊的エリアの線引きをしている最中であるという。霊的にどのようなリーダーを立て、どのような役割でそのエリアを育てていくのか。見守る意味も含め、私たちは常に上級霊たちに監視されている。霊的リーダーを排出出来る重要エリアとは、地上霊界の心臓部に当たる所である。よって、霊界はそのエリアを最も大切な場所として守護する。5000年前から30年ほど前までの心臓部は中国に在った。数年前に霊界はその心臓と呼べる場所を日本に移動してきたのだ。現在の日本に住む多くの能力者たちの力が、霊界から認められている証拠である。

他に世界のエリアは5つほどに分かれるが、それぞれ人間の臓器と同様の役割を担う。肝臓、腸、脾臓、肺などのように、脳からの指令がなくても、各々が役目を全うする為に必要な事を行っていかなくてはならない。そして霊界は脳に該当する。ただし心臓である日本は、脳からの指令がなくても、五臓六腑と身体が動き続けるために欠かせない血液を送り続けなければならない。その成分は、鮮度が良く、霊界の英知が豊富で、宇宙からの生命エネルギーを常に入れ込み続けた物が望まれる。当然だが、それらは目には視えない。しかし、視えなくても目を閉じていても出来るようになる筈である。なぜなら、霊界がそのように人間界をリードしているからだ。ただその結果が地上に反映する未来を、私たちの肉眼で直接確認するには寿命が足りないことも事実である。よって、その事を霊界が勝手にやってくれるのだからと生身の人間がそっぽを向いてはいけぬ。新時代の若者が自信をもってその道を進めるよう、私たち世代の人間から、しっかりとその道を踏んでいかねばならない。スピードが速い分、現代の若者の信頼性とは共有数である。多くの人が良い評価をもって共有している事が彼らの安心材料なのだ。我々中高年が、出来るだけ多くその道を歩んだ足跡を残さなければならない。

昨年は「村神様」が流行語大賞であった。新人類は神人類である事を象徴しているかのようである。飛躍的なテクノロジーや新しい言葉が出てくるたび、中高年の私たちは気後れし面倒になり、昔からのものにしがみつきたくなる。「大人たちと理解し合い、平和な世の中でありたい」若い頃の私たちがいつも思ってきた事である。互いの「歩み寄り」という行為はアナログであるからこそ、どの世代の人間でもその意志一つで必ず振る舞う事が出来る。歩み寄りは双方の努力が無ければ実現しない。霊的な事は目に見えない為、歩み寄っているのか離れていっているのか確証が少なく納得いく説明をする事は常に困難である。ただ、若者の世界を一つでも知ろうとする事は誰もが出来る事だ。きっと、そこに中高年の努力を感じ取った若者のうちの誰かが、こちらに歩み寄ろうとしてくれるのではないだろうか。先輩が生きてる背中を若者に見せるという事は、この先もずっと変わら

れがちになる。だが、その便利グッズと時おり離れる事で自分の本来の力に何度でも気付けるのだと実感した次第である。この点を熱意を持って強調したい。

スマホ信者は若者だけではない

さて、このようななか現代の若者はスピリチュアルとの接点を持つ意味や必要性をどのように捉えているのだろうか。私ども中高年にもメジャーであるスマートフォンの存在は、今の若者にとって何でも教えてくれる神様である。そのような便利グッズを常に携帯する彼らに、スピリチュアルをフォーカスし考えるという事は皆無なようにも思える。

若者のスマホ入力のスPEEDを比較してみよう。我々中高年は若者の速さに当然ついていけない。「一瞬」という時の概念や「感じる」という感覚のSPEEDにもその差は顕著に表れている。最新のテクノロジーにより速さに慣れてるZ世代やアルファ世代は「一瞬」に触れた段階で情報処理と次への動きが同時に出来てしまうまさに異次元の人間たちである。溢れかえる情報の波の中を息継ぎをする暇もないほどに泳ぎ続ける生活が当たり前なのだ。

前述した選手たちは、体験で得た情報を脳内に蓄積するだけではなく、最新のテクノロジーを使用し効率の良い練習方法を行う。自分を磨き上げる方向性を研究し、その為にGoProなどの最新機器が役に立ったりする。当然、努力なしには為し得ないことではあるが、中高年の生きてきた時代とは既に見えているもの、使えるものが違うのである。どのような機器をどのように使えば理想の自分になれるのか、頭の中に筋書きが出来ているのだ。そうしてその事に対し天狗になるわけではなく、きちんと等身大の自分に置き換え反映し、それでいて謙虚である。彼らをはじめ、現代の若者はそのように賢い人間たちである。

中高年よ今こそ出番である

そのような新時代の新人類たちの出現は、まさに世界を網羅するインターネットの登場や小型化された機器により、時間短縮という世界をも作り上げた。リモートワークや授業は、誰もが夢見た「どこでもドア」に匹敵する。この時間短縮という

仕組みを作り上げた事に、霊界も大きく関わっているが、ここにきて霊界は新たな悩みを抱えている。その悩みとは、期待したほど余暇をスピリチュアルに向ける人間が依然として少ないということである。前準備として霊界に興味を持つようなアニメや漫画やゲームなどを流行らせてはいるが、皆、その行為に没頭はするものの、本物の霊界と繋がりに行こうとはならないのである。その理由として、アニメやゲームは誰かのお膳立てに乗っかっていながらも能動的に楽しめ、種類も豊富である。飽きれば取り換えが簡単に利き、死んでも何度でも生き返るという手軽さが魅力なのである。

一方本物の霊の世界とは、地上で生活する人間にとって共通で見えている世界ではない。そこには「神さまのおぼしめし」や「霊的な学び」が無ければ気付く事が出来ないと言われる分野である。80億という人の情報を垣間見、動向を知る事を生活の基盤とする新人類にとって、受動的なことは極力避けたい筈である。生きる毎日が忙しすぎて死後の世界の事まで考えを及ばせる暇がないのだ。しかも、この事は若者だけの話では終わらない。皆さんの周りでも中高年がヒマさえあればスマホのゲームや動画に熱中し、一日が終わるという状況を多く見かけるようになってきてはいないだろうか。

では、どうすれば死後の世界である霊界について目を向けて貰えるのか。霊界はその事を人間界にわざわざ投げかけないといけない。最も早い方法としては、死を間近に感じさせるという事である。しかも、普通死であってはならない。事故や病気などでの早すぎる死という事象が必要になってくる。そうする事で、ようやく人は「同じ死でも、早い人と遅い人がなぜあるのか」というテーマを見つけ出す。そうして、頼みはやはりスマホ神である。早すぎる死というテーマで検索するだけで、色々な検索結果が見つかるのだが、今度はどれが本当であるのかをその中から探さねばならない。こればかりは、生きている人間が誰も経験した事がない為、有力な口コミはなく共有しづらい問題なのである。そこで初めて、直観というものの重要性を意識する事になるが、直観に関しては前述したように新人類はズバ抜けたものを持っている。そこで、素早く本物と出会ってもらえるよう時短



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

スマホ神降臨！ 一方で霊界は新たな悩みも

伽羅（九州日本サイ科学会会長）

昨年2022年11月、カタールで開催されたサッカーFIFAワールドカップ。明るいニュースに乏しい中、日本人の多くが熱く沸いた。その盛り上がりぶりはテレビの視聴率にも反映されており「日本vsコスタリカ」は世帯視聴率42.9%（ビデオリサーチ調べ）であった。同時に行われていたインターネット配信も、その配信先であるABEMATVによると視聴者数は1400万人と過去最高であったという。

テレビとネット配信を単純に合算して考える事は出来ないが、日本に住む人の半数以上がワールドカップに興味を持ったということは事実である。観戦の魅力の要は、やはりいい意味で私たちの予想を遥かに越えてきた監督や選手の戦術とプレーであった。観ている方としては、神がかったプレー連発でラッキーだったという人もいる。

しかし、彼らの神がかったというのは、たまたま偶然のラッキーなどではない。最新の機器やデータを用いた緻密計算から絞りだしたものである。ただの偶然だけでは生み出せなかった領域を最新のテクノロジーの力を借りて、チャンスを更に手の届く場所へと近づけたのだ。選手の殆どは、テックネイティブ（※1）に該当するZ世代（※2）である。その後には生れた若者をアルファ世代（※3）と呼ぶ。

ただし、それらのテクノロジーを意味ある物にするために必要なのが「着眼点」である。これだ

けは、人間の本来持つ「感性」に頼るしかない。AIも当然着眼点とすべき候補を挙げるが、膨大なデータ量からその着眼点を一つに絞り込めたとしても、私たち人間はAIと同じ頭脳ではない。AIにはそれが最善だと計算出来ても、人間がAIの読み通りの手順を正確に踏んでいき、最善手へと辿り着かせる事は途方もなく困難な事である。人は間違える生き物でもあるが、その裏側には計算では測りつくせない可能性も秘めている。

AIにとって苦手な感性を持つからこそ、私たち人間は恐るべき可能性を次々と起こしていけると言える。着眼点に対して「これだ」と言い切れる保証や確証のない中で、どのように人を巻き込めるのか。それが「熱意」である。AIの計算の速さと結果の割り出しに対する正確性に、我々人間は時に自信を失いがちである。それは、ある時雪崩のように自分を押しつぶしそうになる。テックネイティブでなくとも我々中高年も技術革新により同様の思いをした事がないだろうか。

私事で恐縮だが、先日資料を読むために眼鏡を探した。しかしどうも眼鏡が見つからない。「眼鏡がないと何も見えない、困った」と途方に暮れながら資料を眺めた。ところが、資料の位置を調節すると裸眼でもきちんと読めたのである。「眼鏡がないと何も見えない」というのはただの思い込みであり、素の自分でもまだまだ出来る、大丈夫なのだという事に気付くことが出来た。日常を最新の技術に頼りすぎていると、自分の可能性を忘